

競技スポーツ課の施策について

平成28年9月

我が国の国際競技力の向上

オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとする国際競技大会における我が国のトップレベル競技者の活躍は、国民に夢や感動を与え、明るく活力ある社会の形成に寄与。このため、世界で活躍できる競技者の育成・強化を積極的に推進。

＜スポーツ界のメダル獲得目標＞

2016年リオ大会		2020年東京大会
日本オリンピック委員会 (JOC)	・金メダル獲得数14個 ・メダル総獲得数30個	・金メダル獲得ランキング3位 (20～33個)
日本パラリンピック委員会 (JPC)	・金メダル獲得ランキング10位 (10個) ・メダル総獲得数40個	・金メダル獲得ランキング7位 (22個) ・メダル総獲得ランキング5位 (92個) ※継続検討中

【ナショナルトレーニングセンター】

・トップレベル競技者が集中的・継続的に強化活動を行う拠点

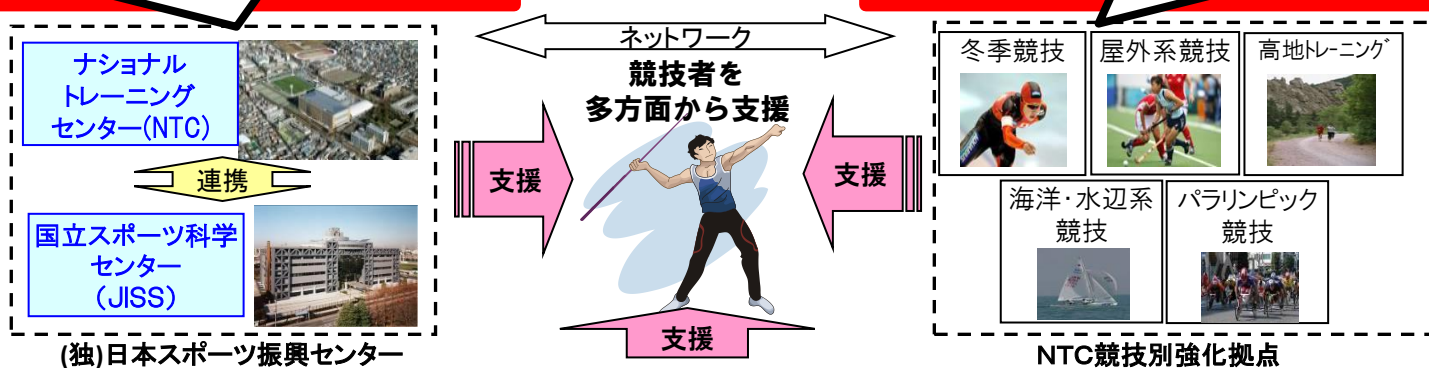
【国立スポーツ科学センター】

・スポーツ医・科学研究や選手サポート、スポーツ診療などを実施

メダル獲得に向けた支援

【NTC競技別強化拠点】

・冬季、海洋・水辺系、屋外系競技、パラリンピック競技などについて既存施設を活用。



国内外の合宿などを含めたトレーニング・強化活動の支援など

【競技力向上事業】

・各競技団体が行う日常的・継続的な選手強化活動を支援
・2020年東京大会で活躍が期待される次世代アスリートの発掘・育成

【ハイパフォーマンスサポート事業】

・メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、アスリート支援や研究開発等について、多方面から専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施

競技力向上事業

(前年度予算額：8,700,000千円)
29年度概算要求額：9,500,000千円

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等における日本代表選手のメダル獲得に向けて、各競技団体が行う日常的・継続的な強化活動及び2020年東京大会等で活躍が期待される次世代アスリートの発掘・育成などの戦略的な強化について、オリンピック競技とパラリンピック競技の一体的な支援を実施する。

「2020年東京大会に向けたJOCの目標」

- 金メダルランキング 3 位以内 (20～33個)



Photo by (株)エクスワン (JPC提供)

Photo by AFLO SPORT (JOC提供)



「2020年東京大会に向けたJPCの目標」

- 金メダルランキング 7 位以内 (22個)
- 総メダルランキング 5 位以内 (92個)



メダル獲得

Photo by AFLO SPORT (JOC提供)



Photo by (株)エクスワン (JPC提供)

基盤的強化

2018年平昌大会、2020年東京大会等に向けて、各競技団体が日常的・継続的に行う強化活動を支援。

◆国内外強化合宿

◆チーム派遣・招待

◆コーチ等の設置など

戦略的強化

2020年東京大会等で活躍が期待される次世代アスリートの発掘・育成の支援や、ハイパフォーマンスに関する取組全般を統括する人材等の育成を支援するなどの戦略的な支援を実施。

◆次世代ターゲットスポーツの育成支援

◆アスリートパスウェイの戦略的支援

地域ネットワークを活用したアスリート発掘・種目転向の促進支援 (新規)

◆有望アスリート海外強化支援

◆ハイパフォーマンス統括人材の育成支援 (新規)

ハイパフォーマンスに関する取組全般を統括する人材や世界トップレベルのコーチの育成支援

◆オリンピック・パラリンピック競技の統合強化支援

ナショナルトレーニングセンターの拡充整備

(前年度予算額: 199,802千円)
29年度概算要求額: 3,660,231千円

【概要】

トップアスリートが、同一の活動拠点で集中的・継続的にトレーニング・強化活動を行うため、パラリンピック競技の使用を想定したナショナルトレーニングセンター（NTC）を整備し、オリンピック競技とパラリンピック競技の共同利用化を図る。

◆2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針（平成27年11月27日 閣議決定）
④メダル獲得へ向けた競技力の強化
公益財団法人日本オリンピック委員会及び公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会の設定したメダル獲得目標を踏まえつつ、日本人アスリートが、大会において最高のパフォーマンスを発揮し、過去最高の金メダル数を獲得するなど優秀な成績を収めることができるよう、トップアスリート及び次世代アスリートの育成・支援のための**戦略的な選手強化**、競技役員など国際的に活躍できる人材の育成、スポーツ医・科学、情報分野の多方面からの専門的かつ高度な支援体制の構築に努めるとともに、**オリンピック競技とパラリンピック競技の一体的な拠点構築を進める**。特に、パラリンピック競技については、基盤の強化をはじめ、大会の成功に向けた重層的な支援を講ずる。

◆計画予定地

東京都北区西が丘3丁目1442-21、22

- 建設工事完成時期 平成31年度当初を目途
- 工事費 約220億円（概算見込額）

◆拡充施設の概要

階数	建築面積	延床面積	建物高さ
地下1階、地上6階	約10,000㎡	約29,400㎡	30.5m
施設		規格等	
共用体育館		(1)42m×23m 弾性床材	
【オリンピック競技】		(2)～(4)44m×24m フローリング	
バスケットボール、バレーボール、バドミントン、テコンドー		※(3)(4)については間仕切りを収納し88m×44mの大空間として利用可能	
【パラリンピック競技】			
車椅子バスケットボール、シットینگバレーボール、バドミントン、テコンドー、ボッチャ、ゴールボール、パワーリフティング、ウィルチェアラグビー			
水泳（競泳）トレーニング施設		50m×10レーン 水深3m	
卓球トレーニング施設		コート数：24～28面	
射撃トレーニング施設		50m（25m）：5射座 10m：25射座	
フェンシングトレーニング施設		30ピスト（ファイナル対応3）	
アーチェリートレーニング施設		12標的	
宿泊施設		ツイン30、コネクティング12、シングル37、和室4	
食堂		座席数約88席（うち車椅子対応38席）	

◆整備年次計画

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
基本設計	実施設計	整備工事			東京オリンピック・パラリンピック競技大会
				トレーニング期間	

◆拡充施設の完成イメージ図



ハイパフォーマンスセンターの基盤整備

(新 規)
29年度概算要求額：1,768,092千円

- 「ハイパフォーマンスセンター」の機能強化を図るため、以下の3センターを新たに設置し、我が国の国際競技力が中長期的に成長していくための基盤を整備する。

JAPAN SPORT
COUNCIL

ハイパフォーマンスセンター (Japan High Performance Sport Center)



国立スポーツ科学センター
(JISS)

国際性
(スポーツ・インテリジェンス戦略)

スポーツ・
インテリジェンスセンター (仮称)

- 多様化・複雑化するハイパフォーマンスに関する情報の世界的な競争の中で、各国のメダル獲得戦略、選手強化方法などのあらゆる情報を先行して収集し、研究・分析結果を競技団体の強化戦略プラン等に反映して用意周到な準備を行い、大会本番でのパフォーマンスの最大化を図る。



一体的な
機能構築

スポーツ技術・
開発センター (仮称)

- 競技用具の機能を向上させる技術等を開発するための体制を整備し、2020年東京大会等に向けた我が国アスリートのメダル獲得の優位性を確実に向上させる。

持続性・連携性
(テクノロジー戦略)

アスリート・
データセンター (仮称)

- ハイパフォーマンスセンターにおける医療、トレーニング、競技映像、栄養などの各種情報を一元的に管理し、トップアスリートが必要な情報を迅速に取得できるシステムを構築し、2020年東京大会等に向けた効果的・効率的な強化活動を実現するとともに、トップアスリートのビッグデータを活用したスポーツ医・科学研究等を促進する。



アスリート
サポート
システム
データの集約・蓄積
一元管理



インターネット
迅速なチェック・分析
トレーニングプランの
改善など



トップアスリートのビッグ
データを活用したス
ポーツ医・科学研究等
の促進



ナショナルトレーニングセンター
(NTC)

卓越性
(情報一元化戦略)

地域におけるタレント発掘・育成事業

平成28年度実施状況

(1)アスリートパスウェイの戦略的支援(競技力向上事業)

①事業内容

複数の都道府県・県体育協会等で構成する「**地域タレント発掘・育成コンソーシアム**」等により、全国各地の才能を有するタレントを、効果的に発掘・育成し、タレントからジュニア競技者へと確実に発掘・育成・強化する体制を整備

②受託者

独立行政法人日本スポーツ振興センター(都道府県や競技団体に再委託)

③平成28年度活動(地域タレント発掘・育成コンソーシアム)

1) **九州タレント発掘・育成コンソーシアム**(福岡県、宮崎県等)

カヌーの発掘・育成プログラム

2) **東北ブロックTID研究会**(山形県、岩手県、秋田県)

カヌー、フェンシング、ボクシングの発掘・育成プログラム

3) **北海道**(北海道、岩手県、秋田県、山形県)

ノルディック、バイアスロン等のウィンタースポーツの発掘・育成プログラム

地域におけるタレント発掘・育成事業

(2) スポーツ振興くじ助成金(日本スポーツ振興センター)による財政支援 将来性を有する競技者の発掘及び育成活動 「身体・運動能力特性に基づくタレント発掘事業」

①助成対象事業

地域において子供の身体・運動能力特性に基づいて優れた素質を有する競技者を発掘する事業

②助成対象者

ア 都道府県

イ 都道府県の域内におけるスポーツの振興を目的とする都道府県の
出資又は拠出により設立された公益財団法人及び一般財団法人

ウ 都道府県体育協会

(参考)助成金額

平成27年度:12都道府県に計約7000万円

平成28年度:14都道府県に計約8200万円

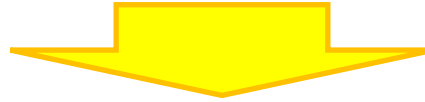
地域におけるタレント発掘・育成事業

③平成28年度助成団体一覧

No	団体名	事業名	対象種目
1	滋賀県	次世代アスリート発掘育成プロジェクト	特定種目なし
2	京都府	京の子どもダイヤモンドプロジェクト	フェンシング、バドミントン、カヌー
3	岐阜県	清流の国ジュニアアスリート育成プロジェクト	特定種目なし
4	北海道	有望選手発掘・育成事業	カーリング、スケルトン、バイアスロン
5	公益財団法人福岡県スポーツ振興センター	福岡県タレント発掘事業	特定種目なし
6	公益財団法人長野県体育協会	SWANプロジェクト	カーリング、スケート、スキー リュージュ、ボブスレー、スケルトン
7	公益財団法人兵庫県体育協会	ひょうごジュニアスポーツアカデミー事業	特定種目なし
8	公益財団法人山口県体育協会	YAMAGUCHIジュニアアスリートアカデミー	レスリング、セーリング
9	徳島県	徳島県トップアスリート発掘・育成プログラム推進事業	特定種目なし
10	愛媛県	えひめ愛顔のジュニアアスリート発掘事業	特定種目なし
11	秋田県	AKITAスーパーわか杉っこ発掘プロジェクト	フェンシング、スピードスケート、ライフル射撃
12	山形県	山形県スポーツタレント発掘事業	特定種目なし
13	宮崎県	宮崎から世界へ挑戦！ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト	特定種目なし
14	三重県	女性アスリートタレント発掘	女子7人制ラグビー

児童生徒のオリンピック・パラリンピック競技大会等への参加に係る学校における出席扱いについて(通知)

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決まっている中、学校に在籍するトップアスリートが、学校教育への影響等に適切な配慮がなされた上で、強化合宿等に参加しやすくすることは重要



- 児童生徒のオリ・パラ大会及び強化合宿等への参加について、児童生徒の心身の発育・発達、学校教育への影響に配慮しつつ、参加を認めること
- この場合、校長は、学校教育活動の一環として参加させることができ、「出席」扱いとすることが適当であること
- 学校においては、保護者や各競技団体と連携して、児童生徒の参加状況を把握すること

について、文部科学省から各都道府県教育委員会等宛てに、通知を发出
(平成27年10月30日)

※オリ・パラ以外の競技についても、指導要録上、平成22年5月の通知に従い、「学校の教育活動の一環として生徒が運動や文化などにかかわる行事等に参加したものと校長が認める場合には」、出席扱いとすることができる。平成27年10月の通知は、校長が、出席扱いを認める場合の考え方を具体的に示したものである。